

会長挨拶

平成 17 年度六郷会総会における挨拶

本年度より六郷会会長に就任しました阿部敏雄
(横浜工専 電気化学科 昭和 24 年卒)です。

本日はお忙しいところ、平成 17 年度の六郷会総会に横浜国大より飯田学長ならびに、幹部の方々、さらに学外から横浜工業会の豊倉理事長はじめ多数のご来賓のご参加を賜り、誠に有難く感謝申し上げます。

私は、今年度から会長になったばかりであります
が、六郷会橋本前会長は今年の総会で突然退任されたと聞いています。

それで会長のポストが空席になってしまい会は混乱したようで*1、私も三次さんからの要請もあり、次期会長選出のお手伝いをしている内に、いつの間にか会長候補にさせられてしまったのでした。

私も迷いましたが、昔の六郷会の会長リストを拝見すると、昔私が東芝でお世話になった、菅要助さん、宇田典夫さんなど大先輩の名があり、それらの方々から受けたご恩、特に宇田さんには私ども夫婦の仲人を御願ひしたという事もあり、それらのご恩に多少とも報いられればとの思いもあってお引き受けした次第であります。

なって見ると、会の活動は年一度の総会と、2 年に一度の名簿発行にとどまり、活性化しているとはとても言えない状況である事がわかりました。

それで、もう少し活性化出来ないかと思いました。しかしこの会の特徴は、幹事会社が 5 社(JFE、A,F,N,T)あって 2 年づつ持つ周りで運営している事にあるのですが、その担当している幹事の皆さんは若手の現役の方々で、現在の活動で手一杯のように見受けられ、これ以上負担をかける事は出来ないと判断しました。

それで、企業を卒業した有識者の皆さんとともに今年の夏「六郷会を考える会」という会議を設立し、検討を始めたところです*2。

まだ始まったばかりで、なんとも言えませんが、一年後の総会では皆さんに何か成果をご披露できれば良いなと思っております。

これだけでは何のことやらとお思いでしょうから検討中の考えの一端をご紹介しますと、最近世にいられている、active senior とか senior renaissance とかの活動を六郷会としての特徴を生かして展開できないかというものを考えています。即ち、企業で活躍していた世代が、第 2 の人生に取り組みなければならなくなった時にさきやかでも六郷会として activation の為のサポートをする仕組みが作れたらというものです。

勿論、その為には他の同窓会*3やYUVECなどとの共同活動なども考えねばならないと思っております。

まだ何も纏まっているわけではありませんが、考える会としての考えが纏まりましたら、皆さんにもいろいろ御願ひする事も出て来ようかとも思いますので、その節のご支援のほどを御願ひ申し上げる次第です。

終わりに、国大のさらなる発展とご列席の皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念して私のご挨拶といたします。



六郷会／煙洲会共催懇親会にて
飯田学長等と懇談する私 三原 洵氏 撮影
平成 17 年 11 月 16 日 川崎カメラホール

*1：今後このような混乱を避ける為、副会長を置く事とした。(会則参照)

*2：検討状況は右の赤枠をクリックすればご覧頂けます。「六郷会を考える会」

*3：会則に、大他学部の卒業生等との親睦交流も目的とする事を明記した。(会則参照)